

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0791
施設名	キッズタウンにしおおい
施設所在地	東京都品川区西大井2-5-21
法人名	社会福祉法人こうほうえん

## 1. 活動のテーマ

### 自然【秋の自然に触れながら遊ぶ】

#### <テーマの設定理由>

秋になり、園庭遊びや探索活動など戸外活動が増えることで、自然に触れる機会が多くなることを予想し、子ども達に身近な自然物に興味をもてるような保育を実践し、どのような気づきを得たり、どのような遊びに発展させたりしていくのかを見守ることにした。

## 2. 活動スケジュール

戸外遊び（園庭、公園など）…各30分程度を週3～4日、秋頃

1歳児：12名

## 3. 探究活動の実践

#### <活動の内容（準備したもの・環境設定）>

- ・秋の自然物に興味をもてるような声掛けや、図鑑を見て名称を知る機会を作った。
- ・散歩車に乗って自然が沢山ある地域の公園へ探索活動。
- ・袋を準備し自然物を持ち帰れるようにした。
- ・拾った自然物を使った製作活動や、おままごと等の遊び。
- ・本格的に戸外遊びが始まる前に園庭の剪定を行い、子ども達が遊べる環境を整える。

#### <活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり>

・図鑑や絵本など、秋の自然物が出てくる書物を子どもと一緒に読み、「これはなに？」と子どもの興味に応え、保育者が名称や色を伝えることで、関心をもっていった。さらに、園庭へ出た際には、園庭にある桜の木の葉が色づいていることに気が付き、「絵本にあったね」「赤だね」「黄色いね」と保育者や友達と一緒にやりとりを楽しんでいた。

・探索活動で自然物がある場所へ行き、拾った自然物を持ち帰ることができるよう袋を用意すると「見て、これ拾ったよ」「大きいね」と、色や大小、形など気付いたことを保育者に知らせていた。

・探索活動で拾った落ち葉をミノムシの製作に取り入れた。「この前〇〇ちゃんが拾った葉っぱだよ」と探索活動を思い出しながら製作に取り組んでいた。保育室に飾ると、製作物を見る度に「これ〇〇ちゃんの」「葉っぱ拾ったの」「ベタベタしたよ」と保護者に知らせたり、保育者とやりとりをしていた。

・探索活動や戸外遊びで拾った落ち葉や木の実などの自然物をカゴに入れ、園庭遊びの際に子ども達が自由に使えるようにした。保育者と一緒に落ち葉を並べて絵を描いたり、葉に穴を開けてお面を作ったりして遊んでいた。普段遊んでいる砂場でのおままごとに取り入れ、「ごはん作っているよ」「お店屋さんだよ」とごっこ遊びを発展させていた。また、年上のクラスの友達が遊んでいる姿を見て、真似をして遊ぶことで、さらに遊びを

発展させていた。

・園庭のレモンの木の葉を拾うと、香りがすることに自身で気が付き、匂いを嗅ぎ「いいにおい」と保育者や友達に知らせ、おままごとに取り入れていた。

・一度だけでなく、戸外遊びの度に何度も同じ遊びを繰り返したり、少しずつ違う遊びになったりしていた。



## ◎振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちが日々の活動の中で自然に触れていく機会が多い。ただ、それを経験として、興味関心を示すものとして発展させるのは保育者の関わり方次第だと感じた。活動の前の導入や、環境設定、保育者の関わり方で、子どもの気付きや興味関心を引き出したり、遊びを発展させることができたりすると思う。

また、異年齢保育を通じて年上の友達と関わっていく中で遊びを模倣して自分のものにしていき、遊びの発展だけでなく、語彙の獲得や、友達同士の関わりの見本になり、成長を促すことができると感じた。